



かわら版二十一号にて、昨年のがま口上講座で仙台市から毎回高速を飛ばして皆勤参加し、すであちこちで口上を披露されている秋山正信さんをご紹介した。今回、その秋山さんの工夫のいでたちをご紹介して、他の会員の方からも良きヒントが寄せられることを期待いたします。

仙台からのチャレンジ PART II

宮城県仙台市 秋山 正信

「ご無沙汰しております。震災では皆様ご無事でしたでしょうか。」

「こちらは幸いにも家族友人とも無事で、被害も軽微でほっとしています。ただ、近隣では今でも避難所の方もおられ、心を痛めています。7月にもなり、街も落ち着きを取り戻して、神社もお祭りは「皆で盛大に」との思いで、「がまの油売り口上」もあちこち出演しています。

境内や公園での口上が多く、資材の運搬が困難なため、「どこでもがまセット」というのを作りました。

(写真1)

展開すると(写真2)のようになります。

これひとつで、どこでも運べるためとても便利です。また、秋に向けて講習会ですねご苦勞様です。皆様のご活躍をお祈りします。



写真2



写真1

秋の筑波路めぐりハイキング(小田方面)

季節はずれの台風により中止となった企画です。今度こそ、のどかな秋の筑波路を歩きませんか？小田城跡を始め沢山の歴史遺産と、実りの秋の風景が楽しめます。ご家族・お友達も誘って一緒にどうぞ。

期 日：平成23年10月15日(土)

集 合：午前9:45

旧筑波鉄道 小田駅前(右の地図P)

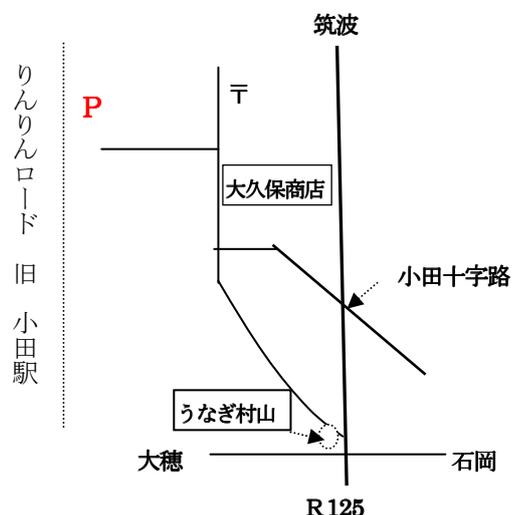
案内人：郷土史家 井坂 敦実 氏

持ち物：弁当、飲み物、タオル、帽子など

申込み：10月 8日(土) 締め切り

練習会支部の代表者または林会長まで

小雨決行・荒天中止



東海道を踏破し、次なる水戸街道にチャレンジを決めた清水泰清さん一行。初回の行程（かわら版二十二号にて紹介）は吉田神社・薬王院・金山稲荷神社を経て一里塚跡にかかります。

街道筋の松並木、一里塚は光圀が造成したことで知られている。ここ元吉田町の一里塚は完全ではないが、江戸時代の面影をしのばせる。松並木は藤柄町、平須、長岡の他、水戸家の鷹場があった下総小金の原に残るのみである。

天神社↓熱田神社↓木村家住宅↓
高岡神社↓如意輪寺

旧道はほぼ6号バイパスに並行して走り、茨城町に入る。天台宗の名刹小鶴の**如意輪寺**は見事な寺院で、参拝させて頂いた時点では、この奥様が『がま研水戸教室』の一期生Dさんとは知らなかった。

長岡宿の奥谷から関東鉄道バスで四十分水戸駅に着いたのは十八時。

＜第二回＞ 六月十九日

水戸駅北口『黄門像』前に集合。石岡行きの関鉄バスに八時に乗車。約五十分で奥谷着。

奥谷御霊神社↓小幡北山埴輪製作遺跡↓

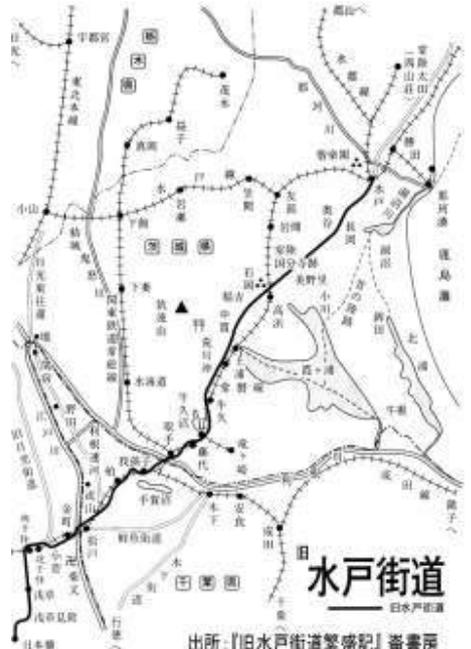
千貫桜

茨城町小幡は中世、佐竹氏の水戸進攻前に勢力があった江戸氏と争った小幡氏の居城があったと云われているが、異説もあり茨城町史でも断定は避けている。

千貫桜は茨城東高の正門前、国道6号に面している。光圀が愛でたといわれ、明治時代に建てられた『千貫桜碑』がある。

水戸街道歩き旅

Part II



清 水 泰 清

天台宗・法円寺↓愛宕神社↓山中薬師堂↓本田脇本陣跡↓北辰一刀流故大貫正成の碑↓竹原神社↓石岡の**一里塚** この**一里塚**は『滑川の一里塚』と云われ、塚に植えた榎も残る県の指定史跡である。

浜松付近を台風北上中のため、その動きを警戒しつつ今回は一気に二十二十分を歩く。JR 石岡から水戸へ。十九時二十分着。

＜第三回＞ 七月十七日

石岡駅 九時十五分集合

常陸国分寺跡

天平十三年（七四一年）聖武天皇勅願で、全国六十六カ所の一つとして建立。十世紀に戦火で灰塵。現在は真言宗国分寺として堂宇（明治以後）が建つ。境内に当時の礎石が保存されている。

若宮八幡宮

八幡太郎義家が陸奥へ向かう時、戦勝祈願したとされる。応仁三年（一四六九年）太田道灌も参拝。石岡市指定文化財

常陸国府跡

近年の発掘調査で、現・石岡小学校一帯が国府跡と判明。移築保存された陣屋門は県指定文化財。

常陸国総社宮

創建は天平年間。総社の名が使用され毎年秋大祭（石岡の祭）が行われる。

まちなか登録文化財

石岡は江戸以降、度々大火に見舞われる。昭和五年頃から建てられた建物十一棟が登録文化財の指定を受け、現在も使用しながら残す方法が取られている。

○丁子屋（ちようしや）

江戸末期の商家で染物屋。現在観光施設まち蔵『藍』として活用。見学可。見せていただく。

○酒蔵『府中誉』

安政元年創業。筑波山系の湧水で醸造。見学・試飲させて頂く。

○恋瀬川・恋瀬橋

筑波山を源に霞ヶ浦、高浜に注ぐ。鯉が遊泳し瀬が見える川から変じて現名に。高浜かこの橋から眺める筑波山が一番といわれている。

○稻吉宿 旅籠 皆川屋

水戸街道に残るに残る唯一の旅籠建造物。県指定文化財。見学不可。

○稻吉宿 本陣 坂本家

水戸街道に残る本陣は稻吉宿・中貫宿・取手宿の三ヶ所のみ。建物内部は非公開。庭内は見学できた。

下稻吉から神立駅まで歩いて五十分。今回は二十五キロを歩く。

孫という名の宝物

林 正一 (土浦市)

運転をしている時、風呂に入っている時……

自然と、一九九九年にヒットした大泉逸郎さんの『孫』を口ずさんでしまう自分がある。

実は、四月二十五日に初孫が誕生したのである！ただ、外孫であることが少しさみしい。

ご存知の方も多いと思われるが、改めてその歌詞を紹介したい。

一．なんでこんなに可愛いのかよ

孫という名の 宝もの
じいちゃんあんたに そっくりだよと
人に言われりや 嬉しくなつて
下がる目じりが 下がる目じりが
えびす顔

二．もみじみたいなの 小さな手でも
いまにつかむよ 幸せを
仕事いちらずで 果たせなかった
親の役割 代わりの孫に
今は返して 今は返して いるところ

三．つよく育てよ おお空泳ぐ
五月節句の 鯉のよに
親の背よりも 大きくなって
一人立ちする 二十才がきたら
祝い言葉を 祝い言葉を かけてやる

この歌が大ヒットした影響かどうか不明であるが、同じ一九九九年（平成十一年）に日本百貨

祝 初孫誕生

林会長 じいじの喜び

店協会の提唱で『孫の日』が制定された。

目的は、「お孫さんと、おじいちゃん・おばあちゃんにコミュニケーションを深める日」ということである。ちなみに『孫の日』は、毎年十月の第二日曜日である。

孫が与える力は偉大なもので、どの家庭でも生活の中心となつていくようだ。

我が家でも、ご多分にもれず、かなりの存在感を放っている。

食事、入浴……何事すべてが最優先だ！

今までになかった我が家のうれしい、うれしい珍現象？である。

娘から「お父さんは、孫には、まったくあまいんだから……私の子供の時とは大違い」言われたが、

孫というものは理屈抜きで可愛く、無条件ですべてを受け入れられる宝ものである。

家に帰ると、仕事の疲れや時間のたつのも忘れ、孫をあやす毎日！

♪なんでこんなに可愛いのかよ♪

そんな孫も、八月五日、海外赴任先のベトナムで待つ父親のもとに行ってしまった。

そんな孫も、八月五日、海外赴任先のベトナムで待つ父親のもとに行ってしまった。

そんな孫も、八月五日、海外赴任先のベトナムで待つ父親のもとに行ってしまった。



お知らせ
いろいろ

忘年会のお知らせ
ちよつと早いですが

会場を確保するため、早々に予約しました。総会資料の日程と異なりますのでご了承、ご予約をお願いします。

記
期日：12月10日(土)～11日(日)
場所：草津温泉 おおるり
費用：宴会込み 10,000円を予定
送迎バスあり

詳細については、後日往復はがきでお知らせいたします。たくさんの参加をお待ちしております。

平成23年度
がま口上講座

開催日：① 9月24日(土)
② 10月8日(土)
③ 10月22日(土)
④ 11月5日(土) 計4回

時間：午前10時～正午
場所：土浦市立『小町の館』
定員：40名
受講料：無料

ご友人、興味をお持ちの方がおられましたら是非お誘いください。

東日本大震災に関連して

佐藤 貞弘

三月十一日に発生した東日本大震災によって、不幸にも甚大な被害が発生し、多くの方々が被災いたしました。心からお見舞い申し上げます。

平成二十三年定期総会は、大震災によるライフライン復旧の遅れや、今後も、余震が予想されることなどから中止とし、議決事項については緊急事態に鑑み役員に一任させていただきまして新年度がスタートいたしました。

定期総会中止のご案内及び総会資料・かわら版第二十二号は、宮城県から静岡県にかけて広い範囲に在住している会員の皆様に郵便で送付したところですが、「あて所に尋ねあたりません」のスタンプが押されての返送が無かったので、安堵した次第です。

がまの油売り口上の実演は、大震災によるイベントの自粛等により古河桃まつりと水海道千姫まつりが中止、茨城県フラワーパークは三月中止、ひたち海浜公園は四月中止となりましたが、その後はあすなろの里を含め各会場で自慢の口上を披露しておりますので、機会がございましたら是非応援の程よろしくお願いいたします。

昨年度の口上等の実演は、五会場四十日を二十六名の方(延九十六人日)により、口上と紙芝居・南京玉すだれ・パネルシアター等々を各会場で披露して大勢のお客様に喜んでいただきました。一日の口上は二回から四・五回におよぶ時もあります。また、個人的に対応していただいている口上実演も相当数ありますので、会員による口上回数には年間数百回に上ると思われます。

なお、今年度デビューした方が既に二名おりますので、今後のご活躍を期待しております。
さて、東北地方太平洋沖地震の破壊継続時間約百七十秒におよぶM9.0の破壊力は、今でも皆さんの身体に記憶されていると思えますが、東日本大震災に関する展示が「国土地理院・地図と測量の科学館」で開催されています。地震の規模、地殻変動、被災地・浸水状況等を改めて確認していただき、次世代に繋げていただきたいと思えます。展示は秋頃までの予定です。



9月以降の口上予定

茨城県フラワーパーク

9月18・23日 10月16・30日 11月3・6日
12月11日 1月9日 2月5・19日
3月4・25日

ひたち海浜公園

みはらしの里の家付近

9月10・11・18・22・29日
10月8・13・22・27・30日

常総市あすなろの里

9月18日 10月16日

お時間のある方は出演・応援ご協力ください

編集後記

余震・ゲリラ豪雨・風評被害等々いずれも我々の人智の及ばぬところで試されているような今年の夏です。人生の収穫を喜べる秋となりますように。

上の写真はわが庭の小さなお客さんです。

編集子